

2024年（令和6年）

10月号

No.228

広報

よしか



六日市小学校1年生は、毎日元気いっぱい、賑やかに楽しく学校生活を送っています。
はじめはドキドキだった学校生活も、上級生や友だちとの関わりを通して、少しずつ慣れてきました。



ひらがなや計算の学習はもちろんのこと、地域へ出かけての学習や、クロームブックを活用しての学習にも意欲的に取り組んでいます。クロームブックを使って、デジタルドリルの学習に取り組んだり、アンケートに答えたりもできるようになりました。

また、先日は生活科の学習の時間に、高津川で川遊びをしました。浮き輪や浮島に乗って、天然のウォータースライダーを楽しんだり、カワムツやカメなどの生き物探しをしたりして、豊かな高津川の自然を思いっきり満喫しました。

自分たちの目を見て、感じて、たくさんの新たな学びができることにワクワクしながら毎日を送っている1年生です。





令和6年度 成人式開催

令和6年8月15日、令和6年度吉賀町成人式を六日市基幹集落センターにて開催しました。当町では20歳になられる方を対象としており、今年度は42名が出席されました。

式典では岩本町長、来賓代表・安永町議会議長それぞれからお祝いの言葉が贈られ、洋々たる前途を自分らしく、力強く進んでほしいとの想いが伝えられました。

お二人からの激励の言葉ののち、新成人代表として泉友梨香さんが記念品の贈呈をお受けになりました。そして、齋藤泰稀さんが謝辞を述べられました。お二人とも凛とした立ち居振る舞いと素晴らしい受け答え・謝辞内容であり、大変立派に務めてくださいました。

式典後の記念行事は、よしか病院・佐々木弥生先生、えびすジム・鉾立将大さんにご出演いただきました。ともに吉賀町のご出身で、Uターンを経て町内で活躍しておられます。前半ではお二人がこれまでの人生で感じたことや大切にしていることを語っていただき、後半では新成人からの質疑も交えながらのトークセッションを行いました。カッコいい先輩方からの言葉・エールは、後輩たちの心に響いたのではないのでしょうか。

最後は記念写真を撮影し解散となりましたが、新成人の皆さんは、互いの近況を語り合ったり写真を撮り合ったり、友との再会のひとときを楽しんでおられました。



第29回UBEビエンナーレ吉賀町賞受賞作品お目見え！

8月26日（月）、受賞作品の寄贈式及び除幕式を開催しました。

出席者の皆さまや子どもたちのお陰で、快晴の中作品のお披露目をすることができました。

作者の佐野耕平先生（成安造形大学）より寄贈いただいた作品は、吉賀町役場本庁舎横に設置され、今後多くの方に楽しんでいただけることでしょう。

作品名

in Weve~Departure

イン ウェイブ ディパーチャー

緩やかな波間を進んで行く様に、日々の時間は過ぎて行きます。

そんな日常に、意志を持って向き合うことをイメージされた作品です。



見て、触って、撮って、など色々な楽しみ方があります。
少し上からだと見られる秘密（!?）の楽しみ方も！！

吉賀町の地域と医療をつなぐ会 夏季イベントが開催されました

令和6年8月17日に、吉賀町の地域と医療をつなぐ会主催により、よしか病院医師の佐々木弥生先生の講演会とよしか病院探検ツアーが開催されました。

このイベントは、地域の児童を主な対象として、よしか病院をより身近に感じてもらうことや、将来の医療従事者の確保につなげることを目的として実施されました。

◆第1部 講演会「こんなときどうする？家庭でできる応急手当」

よしか病院から、吉賀町出身の医師である佐々木弥生先生を講師に迎え、家庭や野外活動中に起こり得る事故や怪我等への応急処置について学び、対応力を養っていただくことを目的として開催しました。

佐々木先生からは、転んで怪我をしたとき、鼻血が出たとき、熱でけいれんしたとき、頭を打ったときなど、児童によく起こる事例を基に、クイズを交えながら対応方法についての解説がありました。

講演の最後には、佐々木先生から、よしか病院では総合診療科として「どのような患者さんでもまずは診る」という姿勢を大切に、可能な限り小児診療の対応も行い、子育て世代の方々の不安を少しでも軽減したいと話がありました。

講演会には、児童や保護者、地域の方々など約80名が参加され、参加者からは「症状への対処法がわかったので、何か起きたときは適切な対応ができるようになりたい」「中高生なども参加すればもっとおもしろいイベントになるかも」「季節ごとに起こりやすい症例を取り扱うなど、定期開催して欲しい」などの様々な意見・感想が寄せられました。



<参加した児童も楽しみながら学習しました！>



<YouTubeで講演会を配信中>

◆第2部 よしか病院探検ツアー

講演会終了後は、よしか病院の仕事を見学し、医療機器などに触れていただく「よしか病院探検ツアー」が開催され、小学生の児童・保護者10組27名の参加がありました。

ツアーでは1階フロアを中心に、外来・放射線・臨床検査・薬局・リハビリの5つの部門を見学し、車椅子体験や、レントゲンとCT撮影の違いについての学習、血液・細菌の顕微鏡観察など様々な体験活動を行いました。

ツアーの最後には、益田保健所梶浦所長の進行による振り返りの会が行われ、参加した児童には医療従事者へのメッセージカード作成が夏休みの宿題として出されました。参加した児童からは「お医者さんや看護師さん以外にも、ちがう仕事をしている人がたくさんいて勉強になった」「よしか病院で働いている人はとても優しかったです」などのメッセージをいただきました。提出されたメッセージカードについては、よしか病院内に掲示しておりますので、是非ご覧ください。



<ヘリポートでの記念撮影>



<車椅子体験をする参加者>



令和6年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会へ出場！



吉賀高等学校3年加藤那菜さん、岩本理沙さん、2年田口桜さん、1年栗原雫さん、佐藤咲和さんが、5月30日から6月1日に松江市の松江総合運動公園で行われた、第62回島根県高等学校総合体育大会に出場され、女子団体で悲願の初優勝を飾られ、8月2日から8日に大分県大分市で開催される全国大会への出場を決められました。

県総体で初優勝という快挙を成し遂げられた5名が、7月29日に表敬訪問され、加藤さんは、「団体戦は一致団結して、個人戦は一人一人が全力を出し切って頑張りたい」、岩本さんは、「高校生活最後の大会なので、支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、後悔のないように頑張りたい」、田口さんは、「今まで練習を共にしてきたみんなと力を合わせて頑張りたい」、栗原さんは、「初めてのインターハイで緊張するけど、練習してきたことをしっかり発揮したい」、佐藤さんは、「初めてのインターハイ、他校の選手や先輩のプレーを見てしっかり勉強してくる」と意気込みを語られました。

兄妹で全国高等学校総合文化祭へ出場！



町内出身で益田高等学校3年の大庭弘己さん、1年の大庭千怜さんご兄妹が、8月3日から5日に岐阜県で開催された、第48回全国高等学校総合文化祭にそれぞれ、自然科学部門、囲碁部門で出場されました。上記の大会は、全国の高校生による芸術文化活動の祭典であり、国内最大規模を誇る「文化部のインターハイ」で、町としてこのような文化系の大会にご兄妹で出場されるのは、今までにない初めてのことです。

お二人は、六日市中学校のご出身で、大会を終えて、「すごいレベルの大会だった。良い経験をさせてもらった」と語っておられました。

岩本町長からは、吉賀町出身としてこうして来ていただいたことへの感謝の言葉とともに、慰労と今後に向けて激励の言葉が送られました。

盆サッカー大会開催

8月12日（祝月）真田グラウンド“よしかみらい”にて吉賀町サッカー連盟主催「盆サッカー大会」が開催されました。お盆恒例の今大会は、連日の猛暑・熱中症対策として開始時間を例年より前倒し、早朝よりサッカー愛好者が参加し汗を流しました。



帰省している方や地元の方、子供から大人までたくさんのサッカー愛好者と、世代を超えた交流を図ることが出来た貴重な時間となりました。

参加者の皆さん、ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。

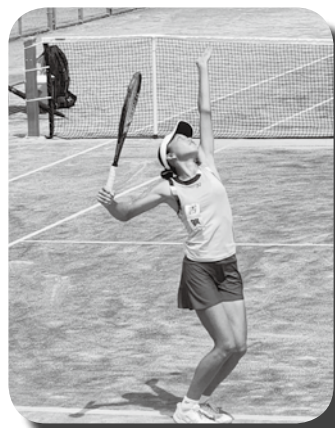


全国高校総体（インターハイ）の報告



8月2日から大分市において、北部九州総体（インターハイ2024）が開催され、吉賀高校から5名が出場しました。吉賀高校創設以来、インターハイに団体で出場することは全競技を通じて初めてのことでした。

教員、各保護者、実家が大分の生徒さん、県高体連関係者、中国地区の他校関係者等の大応援の中、初の全国団体戦の緊張感を力に変え懸命に戦いましたが、1回戦で長野・松商学園に敗れました。試合後は涙でしたが、これはインターハイに出るだけではなく勝ちに行った気持ちの現れと思いました。



8月5日からは個人戦が始まりました。ダブルス加藤・田口ペアは、1回戦で兵庫・相生学院に敗れました。シングルスでは、岩本理沙さんは1回戦で山梨学院選手に敗れました。個人戦シングルスに3年連続出場の加藤那菜さんは、1回戦で愛知・椋山女学園選手に勝利し、2回戦では和歌山・慶風高選手にも勝利し、初の2回戦突破を果たし、3回戦では優勝候補（結果、優勝しました）の神奈川・法政二高選手と互角のラリー展開をしていましたが要所要所でポイントを取れず惜敗しベスト32で終わりました。



これで3年生2名の高体連大会は終わりましたが、国スポもありますし、大学でも競技を続けますので、引退せずに吉賀町で練習をします。最後に今回のインターハイ出場にあたり、地域の皆様にたくさんの激励をいただきました、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

インカレ3位

大学日本一を決める全日本学生テニス選手権（インカレ）が8月12日から四日市テニスセンターで開催されました。男子シングルスに岩本晋之介さん（六日市中卒、関西大3）が本戦第5シードとして出場しました。



初戦から苦戦をものにし、去年のベスト8を上回るベスト4に入り、準決勝では高校同期選手（日本大3）と対戦し、ファーストセットを先取しましたが逆転され涙を吞みました。日本一を目標にインカレに望みましたが悔しさが残りましたが、3位という戦績は今後日本一を狙える手応えを感じました。ダブルスはベスト16でした。

今後は、すぐに関西学生テニス選手権（夏関）が行われシングルスは第1シードとして2連覇を目指します。その後関西学生リーグ戦で連覇を狙い、9月21日からは佐賀県で国民スポーツ大会（国体）に出場します。引き続き応援よろしくお願いいたします。

町長コラム

Vol. 79



吉賀町長
岩本一巳

課題解決の一助に

員の高齢化等による労働力不足への対策も課題となっています。このようなことから、スマート農業・低コスト化技術を導入している組織での事例紹介を通じて、生産コスト削減と省力化による持続可能な米作りに向けた取組みに資するため、この実演会を開催したものです。

去る8月18日（日）午前、真田地区にある吉賀町交流研修センター及び周辺圃場に於いて、島根県西部農林水産振興センターと吉賀町の共催による「スマート農業・低コスト化技術実演会」が開催され、吉賀町をはじめ益田市、津和野町から関係機関団体の担当者など数十名の方々が参加されました。

近年、米価低迷や資材高騰、さらに異常気象による水稻収量低下により、水稻経営は大変厳しい状況が続いています。また、既存の集落営農組織でも、構成

術）等の先端技術の活用による新たな農業のことです。

当地区が取り組むスマート農業では、トラクター等の自動操舵システムなどを導入されました。システム内容をごく簡単に説明すると、地球上の現在位置を測定するためのシステムであるGPS（衛星測位システム）を活用した基地局を地区内に設置し、そこからの補正信号を受信するための移動局をトラクター等に設け、自動操舵を行うものです。また、自動給水システム（圃場水管理システム）も導入しています。当日は、担当者から、GNSS基地局（デジタル簡易無線方式）や無人自動運転田植え機についての説明と作業動画を視聴し、その後、近隣の圃場に移動して、自動操舵トラクターの作業実演や自動給水システムの説明を受けました。

これらの推進によって、作業時間短縮により農作業が省力化するとともに、農業経験の浅い方でも正確な

作業が可能となり、担い手となる営農者確保にも寄与することが期待されます。スマート農業の導入によって、農業分野における様々な課題の解決の一助になることを期待しています。



<スマートフォン操作による自動給水システム>



<自動操舵トラクターの作業実演>

能登半島地震に対する職員派遣



令和6年能登半島地震の被災自治体の復旧・復興を支援するため、本町から派遣した職員が帰町し、8月13日（火）、その活動が報告されました

派遣した職員は、大田裕一郎統括主幹（医療対策課）で、8月6日（火）から9日（金）までの間、石川県輪島市で公費解体申請受付・準備・相談受付対応等の支援業務を行いました。

大田統括主幹から「支援業務は、公費解体に関する申請書類のチェック等が主なものでしたが、発災から半年以上経過した現在もこうした業務が続いていることや、宿泊地から勤務地の輪島市役所への行き帰りでは、倒れた建物や電柱、陥没した道路など、今もなお被災したままの状態が残っていることを目の当たりにし、災害の大きさを痛感しました。また、元の姿に戻るのにいったいどれくらいの時間がかかるのかと考える日々でした。私は短期派遣でしたが、復旧・復興にむけて中・長期的な支援が必要と感じました。」との報告があり、岩本町長からは「この派遣で得たものを業務に活かすとともに、他の職員へも共有していただければと思います。大変お疲れ様でした。」と労いの言葉が贈られました。

環境情報 10月は食品ロス削減月間です！

令和元年5月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」（略称 食品ロス削減推進法）が成立し、法律が施行された10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められました。食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことです

食品ロスを減らすためには、ひとりひとりが食品ロスに対する認識を高め、消費行動を改善することが重要です。今回は食品ロス問題に関連して、「30・10（さんまるいちまる）運動」、「てまえどり」について紹介します。

○「30・10（さんまるいちまる）運動」とは？

「30・10（さんまるいちまる）運動」とは、宴会や会食で、「最初の30分間と最後の10分間はお料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう」という運動です。

日本では、食料の多くを輸入に頼りながら、大量の食べ物が無駄に捨てられています。宴会や会食で、お料理を食べ残す量は、ランチ・定食の5倍と言われています。皆さん、楽しい会話に夢中になってお料理を残していませんか。そこで、「30・10運動」の実践です。

- ①注文するときは、食べきれる量を注文しましょう。また、食べられないものは、先に伝えておきましょう。
- ②乾杯後30分間は、席に着いて、お料理を楽しみましょう。
- ③お開きの10分前は席に戻り、お料理を残さずに食べましょう。



○「てまえどり」

「てまえどり」とは、すぐに食べるものを買うとき、棚の手前にある賞味期限や消費期限が短い食品を買うことです。近頃は、スーパーやコンビニの陳列棚で、「てまえどり」のポップをよく見かけます。私たちが「てまえどり」を行うことで、お店の期限切れの食品廃棄物を減らすことができます。お買い物の前に家にある食材・食品をチェックし、使いきれ的分だけを買うよう心がけ、すぐに食べるものなら「てまえどり」をぜひ実践してみてください。

《柿木中学校で食育スクールを開催しました》

8月2日・10日に柿木中学校で食育スクールを開催しました。柿木中学校では3回／年、弁当の日があります。弁当の日、お弁当作りを通して、バランスのとれた食事について考え、食事について意識を高めることや、家族、生産者、地域の方々への感謝の心を育むことをねらいとして14年前から続いています。

子どもたちが自分の弁当を作れるよう食生活改善推進協議会では、中学生が必要な栄養素を学び、お弁当作りの参考にできることを目的に食育スクールを開催しています。子どもたちは手際よく、バランスも彩りもよいお弁当を作りました。



感想

- ・弁当の日の参考になった。将来役立つので頑張りたい。
- ・皆で協力して作ったお弁当はすごくおいしかった。
- ・食改さんからアドバイスをもらって上手にできた。
- ・今回3回目でけっこうできるようになって知っていると思っていたがまだ知らないことも多くて楽しかった。



《メニュー》

- ・コーンごはん
- ・卵焼き（ニラ入り）
- ・トマトときゅうりのナムル
- ・ひじきの含め煮
- ・ピーマンのケチャップ炒め
- ・ささみフリット
- ・りんご

《10月8日（火）にまちの食育ステーション事業を行います》

10月8日（火）にキヌヤ七日市店、サンマート六日市店でまちの食育ステーションと題して皆さんが買い物に訪れるお店に食生活改善推進員がお邪魔し啓発活動を行います。

今回の啓発活動では、1日に摂取してほしい野菜の量350g、簡単野菜料理2品の展示とレシピ紹介、うす味の啓発を行います。

またベジチェックという緑黄色野菜をとっている量が簡単に分かる機械を設置し、皆さんの日ごろの野菜の摂取量を「見える化」し食生活改善のきっかけにしたいだけのように取り組みを行います。ぜひご来場ください。

啓発日時（予定）サンマート六日市店 10時～11時ごろ

キヌヤ七日市店 11時～12時ごろ

※配布物が無くなり次第、終了となりますのでご了承ください。

ベジチェック

機械に手をのせて30秒で
自分がどのくらい野菜がと
れているかがわかります☆





吉賀高校支援室だより



最近の若者代表 吉賀高校生

吉賀高校の生徒に対して町民の皆さまはどのようなイメージをお持ちでしょうか？

まちで見かける「イヤホンをして」「スマホをいじっている」姿から、「おとなしそう」なイメージでしょうか。それともアントレ発表などで立派なスライドと共に「人前で堂々と語る」姿から、「熱心で」「自分に自信がある」イメージでしょうか。

島根県が掲げる「地域に開かれた教育課程」のもと、吉賀高校の生徒たちは地域に関わらせていただく機会が増えてきました。とはいえ、まだまだ多くの町民の皆さまにとっては、「知らん、わからん」というのが本音なのかもしれません。

「Z世代（ぜっとせだい）」とも呼ばれる「最近の若者」たちは、生まれた時からインターネットやスマホが日常生活に当たり前に存在しています。情報収集能力が高くSNSでのコミュニケーションを得意とする傾向があるようです。長期的な経済低迷期、大災害や新型コロナウイルス感染症など不安定な時代を過ごしており、未来に対する不安が大きく堅実志向、また、環境問題などの社会問題に関心が高いともいわれます。小さい頃から人権教育を受けており、多様性を重視し自分らしさを大切にしている人が多いようです。

「Z世代」、「昭和世代」、「高齢者」とひとくくりにするのはナンセンスですが、生まれ育った時代が違う多様な人たちが関わり合うということは、互いにとって価値のあることではないでしょうか。古代エジプトの石碑などにも、「最近の若い者は…」という表現があったとかなかったとか噂されますが、いつの時代も「違い」や「変化」を恐れ、忌み嫌ってしまうのが人間の本能なのかもしれません。

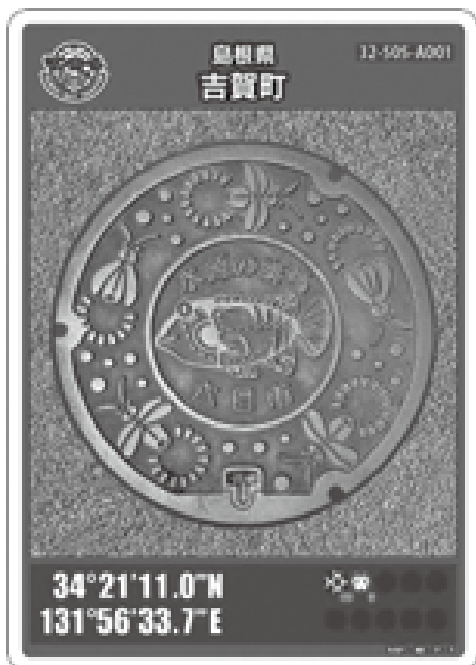
吉賀高校の生徒は8月も地域に元気に飛び出していきました。8月末に開催された「よしか祭」では、町民の皆さまにもたくさんご来校いただき、ありがとうございました。吉賀町の「最近の若者」代表ともいえる吉賀高校生と町民の皆さまが出会い、「違い」を楽しむことができるような「場」を作っていくのも支援室の役割だと思っています。令和6年度も後半戦スタートです。引き続きよろしくお願いいたします！

上下水道コラム

☆マンホールカードを集めてみよう☆

皆さんは“マンホールカード”をご存じですか？皆さんと下水道の身近な接点であるマンホールの蓋を通じて、楽しみながら下水道への理解や関心を深めてほしいという願いから誕生したのがマンホールカードです。

今回はそんなマンホールカードの魅力を2つに分けてご紹介します！



<吉賀町のマンホールカード>

その1 コンパクトで思い出を振り返りやすい！

カード自体がコンパクトなためカードケースなどにファイリングしやすくなっています！

60センチの蓋に描かれる吉賀町の魅力をきれいなまま保管いただき何度でも見返すことができます。

その2 一目でその地域の魅力・名物・名所がわかる！

マンホールの蓋はその土地に縁のあるものが描かれた【ご当地もの】です。

吉賀町では中央にオヤニラミ、外周にホテルを配置した清流高津川が流れる吉賀町ならではのデザインとなっています。他の市町村のカードとデザインを比較してみるのも面白いかもしれません！

今回紹介したマンホールカード、六日市温泉ゆ・ら・ら、道の駅やくろにてお一人様一枚限りでお渡ししております。（ゆらら・やくろが休館日の毎月第2水曜日は吉賀町役場柿木庁舎、六日市庁舎にてお渡ししております。）

ぜひこの機会に吉賀町はもちろんですが、他市町村のマンホールカードとともにコレクションされてみてはいかがでしょうか？

屋外に看板やポスターを設置する皆様へ

島根県では良好な景観の形成等を目的に屋外広告物条例を定め、各市町村で設置許可や違反広告物対策を行うなど、必要な規制・誘導を行っています。

みなさんも、これから屋外に看板やポスターを設置される場合は、下記のポイントを参考に、屋外広告物の適正な設置にご協力をお願いします。

また、既に設置されている場合も、下記のポイントを参考に自己点検を行い、屋外広告物の適正化に努めていただきますようお願いいたします。

●屋外広告物とは

常時又は一定の期間継続して公衆に表示されるものです。

お店や会社の名前・営業内容・シンボルマークなどを表示したものはこれに該当します。



- ・ はり紙 ・ はり札 ・ のぼり
- ・ 立看板 ・ 広告板 ・ 広告塔
- ・ 広告幕 ・ 電柱広告物 ・ 電飾広告 など

●島根県屋外広告物条例のポイント

○屋外広告物を設置するには事前に市町村長の許可が必要です。

※手続きをされず既に広告物を掲出しておられる場合も、申請手続きを行ってください。

○屋外広告物の種類に応じて面積や高さなどについての基準があります。

○著しく破損したものや倒壊のおそれなどがある屋外広告物は設置できません。

○広告物の変更や、更新、除却の場合にも手続きが必要です。

○屋外広告物設置工事の発注は屋外広告業登録済みの屋外広告業者に行いましょう。

○設置後の屋外広告物は、適切に補修を行うなどして良好な状態で管理しましょう。

○必要なくなった屋外広告物は速やかに撤去しましょう。

～～許可不要の広告物～～

◎店舗、事業所の建物や敷地内に、その名称や取り扱うサービス内容を記載する屋外広告物
(1 敷地内合計 10 m²以内に限り)

◎土地、建物の管理上の必要から、注意事項等を記載する屋外広告物
(1 敷地内合計 10 m²以内に限り)

◎一時的又は仮設的な広告物又は掲出物件で冠婚葬祭、祭礼、その他競技会等の催しのため設置する広告物で、設置する期間が一時的であり、許可基準に適合しているもの

【問い合わせ先】

《役場窓口》 建設水道課 (柿木庁舎) ☎0856-79-2212

制度の概要・条例について：島根県土木部都市計画課 ☎0852-22-6143

島根県屋外広告物のホームページ (<http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/keikan/okugai/>)

住民基本台帳の閲覧状況の公表（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

住民基本台帳の閲覧状況について、関係法令の規定により次のとおり公表します。

○国または地方公共団体（住民基本台帳法第11条第3項に基づく公表分）

国 または 地方公共団体の機関の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲
吉賀町 税務住民課	吉賀町地球温暖化対策実行計画（区域政策編）に関するアンケート調査のため	令和5年8月10日	吉賀町全域 令和5年8月1日時点で住民の方
吉賀町 保健福祉課	令和5年度島根県ひとり親家庭等実績調査世帯の抽出のため	令和5年11月1日	吉賀町全域 令和5年11月1日時点で母子、父子、寡婦世帯の方
吉賀町 総務課	消防団員による独居老人防火指導のため	令和5年11月5日	六日市地区 令和5年11月5日時点で65歳以上の独居世帯の方
株式会社 サーベイリサーチセンター	内閣官房より委託された、「満足度・生活の質に関する調査」のため	令和5年11月14日	蓼野地区 令和6年1月1日時点で16～89歳になる住民の方
株式会社 アド・ジャパン	福井県より委託された、子育て世代の結婚や子育てに関する意識の調査のため	令和5年11月20日	吉賀町全域 令和5年11月1日時点で20歳～49歳の方
吉賀町 保健福祉課	吉賀町子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査のため	令和5年12月15日	吉賀町全域 令和5年12月15日時点で0歳～12歳の方
自衛隊 島根地方協力本部	自衛官等の募集に伴う案内送付のため	令和6年1月19日	吉賀町全域 令和6年1月19日時点で平成18年4月2日から平成19年4月1日生まれの方
吉賀町 総務課	消防団員による独居老人防火指導のため	令和6年2月5日	柿木地区 令和6年2月5日時点で65歳以上の独居世帯の方

よく使われる手話をおぼえてみよう

【あいさつ】

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」というあいさつは、「朝」「昼」「夜」というAの手話と、「あいさつ」というBの手話を組み合わせて表現します。

ろう者のひとによっては、BをせずにAだけする場合や、手をあげるだけであいさつとする場合など様々あります。これは親しい間柄でのあいさつです。これだけでも通じますが、上司や初めての方などでのあいさつはA+Bとなります。

A

朝



片方の手をグーにしてこめかみあたりに置き、そのまま下げ、頭を起こす。(枕をはずすイメージ)

昼



片方の手の人差し指と中指をそろえて額にあてる。
(時計の針が12時の時のイメージ)

朝、昼は片手を使います。左右やりやすい手があるかもしれませんが、どちらの手でも大丈夫です。

夜



左右に広げた両手を顔のあたりで交差させる。
(日が暮れるイメージ)

B

あいさつ



両手を向かい合わせて人差し指を立て、人差し指を曲げる。

(向かい合った人がお辞儀をするイメージ)

少し頭を下げるとあいさつの雰囲気が出ます。

10月は里親月間です

里親になりませんか

～子どもたちに家庭のぬくもりを～

さまざまな事情により家族と一緒に生活することが出来ない子どもたちがいます。里親とはこうした子どもたちを自分の家に迎え入れ、家庭的な環境の中で愛情を込めて養育してくださる方です。

里親の家庭で愛情に包まれて家族の一員として暮らすことにより、子どもたちは一人の人間として大切にされ、愛されているという感覚を持ちながら育つことが出来ます。

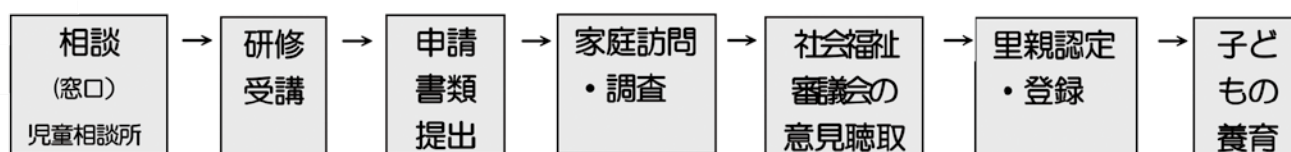
～子どもたちのために、あなたにも出来ることがあります～

里親には、子どもが親と一緒に生活出来るようになるまで養育する「養育里親」と養子縁組により養親となることを希望する「養子縁組里親」があります。（このほかに専門里親、親族里親があります。）

子どもが好きであり、愛情と熱意を持って、真心を込めて養育してくださる方を求めています。養育里親の場合は、長期の養育だけでなく、月に1～2回程度、主に土日や長期休み中に数日間といった短期間の家庭生活体験をさせてくださる方も求めています。

里親になるためには特別な資格は必要ありませんが、必要な研修を受講すること、里親を希望する方とその同居人が欠格事由等に該当しないこと、経済的に困窮していないことが必要です。

里親となるまでの流れ（養育里親の場合）



●里親制度に関心がある方はお問い合わせください。

中央児童相談所 Tel0852-21-3168 隠岐相談室 Tel08512-2-9706

出雲児童相談所 Tel0853-21-0007 浜田児童相談所 Tel0855-28-3560

益田児童相談所 Tel0856-22-0083

（参考）欠格事由等：里親希望者及び同居人が以下の事柄に該当する場合

- ① 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- ② 児童福祉法等で罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- ③ 児童虐待ほか児童の養育に関し著しく不適当な行為を行った者
- ④ 暴力団関係者

吉賀町立図書館

【夏の映画会】

7月下旬から3回ほど子ども向けのDVD上映を行いました。放課後児童クラブの子ども達や図書館利用者のご家族など大勢の方々と賑わいました。また8月には、映画『人生いろいろ』の上映会も行いましたが、鑑賞された方から「面白かった」などの感想をいただきました。

【セカンドブックフェア】

恒例のセカンドブックフェアを次の通り行いますのでどうぞ来館下さい。

期間：10月19日（土）～10月30日（水） 場所：吉賀町立図書館 多目的室

内容：保育所園児の感想画展、古本市（文庫本、月刊雑誌、絵本など）

※11月3日きん祭みん祭農業文化祭（六日市会場）にて、感想画を展示します。

11月17日の柿木会場ではBMみたい号が行きます。本の貸出・返却ができます。

【親子読書の会 幼いあなたと一緒に】

昨年に引き続き、幼いお子様のいらっしゃるご家庭に読書の良さを知っていただくことを目的におはなし会を行います。講師は、庵野さゆりさん（親子読書アドバイザー）です。

参加を希望される方は、図書館にご連絡をください。（図書館 ☎77-1850）

日 時：10月9日（水）10：00～11：00

場 所：図書館

参加費：無料



《新刊紹介 8月に入った一般の本より》

芥川賞受賞『バリ山行』	松永 K三蔵
『捨てられた僕と母猫と奇跡』	船ヶ山 哲
『軽いノリノリのイルカ』	又吉 直樹
『可燃物』	米澤 穂信
『籠の中のふたり』	葉丸 岳
『われは熊楠』	岩井 圭也

《新刊紹介 8月に入った児童書と絵本より》

『モノの一生はドラマチック！天寿まっとう編、生まれ変わり編』	
	NHKぼくドコ制作班
『科学探偵VS幽霊船の海賊』	左東 みどり
『フィリムの翼 上下』	小前 亮
『恐竜のあたまの中をのぞいたら』	大島 英太郎
『うみへ』	三浦 太郎

《図書館利用状況8月》

- 貸出総数 1758冊
- 貸出人数 353人
- 来館者数 536人

〔休館日と返却ポスト〕

- ・毎月曜日と祝日は休館です。
- ・吉賀町内各公民館前に返却ポストを設置しています。

柿木公民館

晩秋の澄みわたる夜空の月を愛でる。十五夜から一ヶ月後の旧暦九月十三日の夜のことを「十三夜」といいます。これは、中国から十五夜の風習が入ってくる前から存在した日本の月見の風習です。台風シーズンの十五夜よりも十三夜のほうが晴れる確率が高いことが、広く普及していた理由のようです。現在では十三夜についてあまり知られなくなりましたが、昔は十五夜の月見をしたら、必ず十三夜にも月見をして祝うものとされていました。十三夜は「豆名月」「栗名月」と呼ばれ、お供え物の豆や栗が、ちょうどこの時期に食べごろになることが、その由縁といわれています。



【今月の本の紹介】

ウナギと日本人	筒井 功	豆腐道	森井 源一
芋代官	田中 通	生活に生かす音の科学	山田 伸志
世界の火山図鑑	須藤 茂	クルマのメカニズム大全	青山 元男
銃とチョコレート	乙 一	沼地のある森を抜けて	梨木 香歩
天下人の茶	伊東 潤	遺産	笹本 稜平
モモのこねこ	やしま たろう	やきいもの日	村上 康成
にんじんのにんにん	ふるや かおる		

2024 10 サ・ネットにちはら 番組スケジュール

※編成の都合上、番組・内容が変更になる場合がありますあらかじめご了承ください

月	火	水	木	金	土・日
6時～ 体操の時間					
9	00 津和野夜神楽2024 出演 石見神楽保存会 日原社中 演目 岩戸 8月17日収録 津和野町民センター	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 いざ山城	JAカップ第41回鳥根県 学童軟式野球選手権大会 益田・鹿足地区大会 益田、鹿足から8チームが出場した JAカップ軟式野球大会 熱戦の模様 を放送 9時～ 第1試合 吉田 対 津和野 第3試合 益田七尾 対 七日市	00 フットプロビギナーズ 15 出雲弁よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべわ!OOO先生 00 出雲のほそ道 00 最大病院ちよっと気になる健康講座 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋 11:00 津和野夜神楽2024 太鼓谷稻成神社特別公演 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋	00 鷗外忌講演会 日清戦争の戦場カメラマン -津和野の伯爵・亀井茲明の生涯- 11:00 津和野夜神楽2024 太鼓谷稲成神社特別公演 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋
10	00 ニュース・サ・ネット 9月総集編 9月中に放送したニュース・サ・ ネットをまとめて放送!	00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅	00 手軽に一品 30 最大病院ちよっと気になる健康講座 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋	00 鷗外忌講演会 日清戦争の戦場カメラマン -津和野の伯爵・亀井茲明の生涯- 11:00 津和野夜神楽2024 太鼓谷稲成神社特別公演 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋	6時～24時 ニュース・サ・ネット (1時間おき)
11	終了後 県立中央病院えにし クラフトワークショップ	00 釣りしんちやい! 30 登山で頂きメシ!	00 おくいずも新探訪へさらに「奥へ」 15 ひらたナビ山ちゃんど行く 30 CATV情報ネットしまね	00 フットプロビギナーズ 15 出雲弁よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべわ!OOO先生 00 出雲のほそ道 00 最大病院ちよっと気になる健康講座 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋	ニュース・サ・ネット終了後 5・6日 かのあし安全安心だより 津和野警察署員が鹿足郡内の 安全安心に関する情報をお届けします
12	00 フットプロビギナーズ 15 出雲弁よもやま話 30 くわいだん -怪談- 45 おべわ!OOO先生 9月4日収録 六日市基幹集落センター	00 少年の主張鹿足郡大会 鹿足郡内5つの中学校から9人の 弁士が出場し、家庭や学校生活の 中で感じたことを発表 9月4日収録 六日市基幹集落センター	17時～ 準決勝2試合・決勝 8月31日・9月1日収録 益田市民球場	00 令和6年度 防災安全講演会 第1部 「気象情報はなぜ生まれ、 何を訴えているのか」 講師 笠井 将伸氏 (松江地方気象台長) 第2部 「県民がてきえる災害対策」 講師 大西 貴典氏 (地域防災研究所所長) 9月7日収録 吉賀町ふれあい会館	00 釣り天国!石見 15 探偵社ぶらり 30 いざ山城 00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅
13	00 出雲のほそ道 30 最大病院ちよっと気になる健康講座 出演 木ノ口神楽社中 / 演目 五条橋	00 津和野の伊能図が語る 近世後期の地区製作 演題 「伊能忠敬の地図を科学する」 塚本章宏氏(佛教大学歴史学部) 演題 「堀田(仁助)・蝦夷地を測った津和 野藩士」仲 英雄 氏(安来市加納美術館)	00 令和6年度 防災安全講演会 第1部 「気象情報はなぜ生まれ、 何を訴えているのか」 講師 笠井 将伸氏 (松江地方気象台長) 第2部 「県民がてきえる災害対策」 講師 大西 貴典氏 (地域防災研究所所長) 9月7日収録 吉賀町ふれあい会館	00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅	
14	00 おくいずも新探訪へさらに「奥へ」 15 ひらたナビ山ちゃんど行く 30 CATV情報ネットしまね	00 釣りしんちやい! 30 登山で頂きメシ!	00 手軽に一品 30 川上栄治の益田旅		

15時～ 体操の時間

17時～ 9時台からの番組をリピート放送

議会中継再放送日程【112CH】

津和野町議会9月定例会 一般質問
10月7日(月)～8日(火)

吉賀町議会9月定例会 一般質問
10月14日(月)～16日(水)
※放送時間はテレビの番組表でご確認ください

令和6年度 防災安全講演会

◇近年の気候変動や鳥根県の地理的特性を紹介
すると共に、大きな災害を教訓に生まれた平成
以降の新しい防災気象情報について、何を訴え
ているのか解説
◇防災意識向上と防災の概念をリセットする問い
かけや継続力のある防災活動の必要性を啓発

令和6年度秋季中国地区
高等学校野球大会

鳥根県ケーガールテレビ協議会ネットワーク生中継
10月25日(金)～27日(日)
鳥根県高等学校秋季野球大会を勝ち抜いた4校を
含む中国5県の計16校が出場する中国地区大会の
試合を生中継で放送予定【111CH・112CH】

サ・ネットLINE公式アカウント



番組情報などお届けします!
ぜひ友達登録をお願いします!

鳥根県鹿足郡津和野町池村1997-1 開庁時間 平日8:30～17:15 (土日祝休み) TEL 0856-74-2099 HP <https://sn-catv.jp/>



《寄稿》

隣は何をする人ぞ！

竹中 和博

最近、私の周辺でも、隣近所の方がどこへ勤めているか、息子さん娘さん嫁さんが何をしておられるのかが良く分からない事が多くなった様に思います。私より年上の方達と話をすると、嫁さんの出身地とかその親御さんの職業とか、兄弟の仕事とかも本当に詳しく知っておられて感心しています。それと言うのも隣近所での会話が盛んに行われていたという証拠だと考えます。以前は隣近所や近い親戚の台所事情も手に取る様に分っていたものです。

今はやたらとプライバシーが先に立って互いの家の中の事にまでは踏み込まなくなり、困っていても気付かないし、知っていてもよいいなおせっかいだと言われそうで、見て見ぬ振りとは決め込んでいるのが現実です。

土産物、家庭菜園で出来た物など常に行き来していた時代もありましたが今、少し薄れて来ている様に感じます。

社協等で、「フードバンク」を実施されていて、余っている物を必要とされている方に渡すという取組みが行われていることは大変良いことです。同時進行としては非隣近所と

の繋がりを可能な限り密に出来たら、公共の組織に頼らずとも解消出来そうです。

地域全体で、見守り、助け合うという精神を醸成していけたらと思います。

《寄稿》

郷里回想録十七

橋本 雅夫

「昭和は遠くなりにつれ」の流行語から幾久しい今日迄幾多の風雪を肌身に触感しつつも瞬時は思い出となり蘇えざりし昨今ではある。昭和初期から同年二十年代は生活必需品を始め特に金品類は毛頭極度に不足国民は生活苦を仕良れた。よって、生活環境を取り巻く垣塙において皆々が相互間協力、協調性、又、創意工夫にて日々の暮らしに対処没頭した時代であった。是等の主たる其の背景は、かつての日本国は昭和六年勃発の日中戦争を皮切りに同年二十年八月迄日々明け暮れる迄常々に實に十四年間前持って前代未聞の大半の戦を体験した事実を断じて唾め無い。しかし、其の反面田舎において子どもは至って元氣朗らかであった。此の様なる世相で折りしも一軒の店屋で口ウ紙の飴や、けい水の飲料品、メリケン粉だらけの焼饅頭、又、アイスクャンディ、黒糖等々

買いい食す。加えて此の時世秋の取り入れ終了時越中富山より薬売り商人が訪れ各家を訪問す。各本舗「才田屋」あるいは「越後屋」・「赤ぐすり青ぐすり本舗」等此の薬屋は幾重にも重なるやなぎごりの薬箱を背負い新薬入替え使用分を精算す。薬は風邪の赤ぐすり・青ぐすり・メンタム・ヨードチンキ・たこの吸い出し・赤切れぐすり・熊乃井・ひきの膏

薬・滋養強壯剤人参五臓圓・赤ちゃん夜泣き薬等多種多数の詰箱果し子ども等には土産の紙風船を心良く手渡す。又、簡素なる絵入りの「食い合せ表」も配布此の表に表示の食物を同時に食すと食中毒や腹痛、又、下痢等を起こすと云ふもの。例えば「梅干しにうなぎ」・「すいかと天麩羅」・「蛸と柿」等々多種様々であったが是等を一考察するに例えば「梅干しにうなぎ」であるが是は梅干しは耐久性があり整腸に非常に効能はあるが極めてすっぱくあまり旨くない。かたや旬の土用うなぎは非常に美味によつて、此のうなぎの旬時位はうなぎを食し御満悦あれと云ふもの。以下紙面上割愛を合い心見るも折りしも時同じくして、山口三田尻よりも旅駒物屋商人が訪れた。大きな竹籠に日用雑貨品に各種の飴御菓子満載し子どもにも人気がありしもの、此の商人飛白の長着に地下足

袋を履いていた。間々御調子に乗るとカップレを「カップレカポツレ甘茶でカップレホイサツサ」等と自から唄い前後左右に面白い動作、仕種で踊った。此の時分の昭和期は貧しき内に悠長で何処か哀愁を帯びた一面を覗かせた無理口外極度なる理不尽も無き浮世で有しものが此処に回顧す秋夜の宵ではある。

《俳句》

一行の日記で今日をしめくくり

田村 民子

原爆忌傘寿のガイドと歩きけり

村田 綾美

亡き父に見せたき庭の百日紅

河野 由希

簾越しにお隣の庭鑑賞す

山崎 美智子

峽里は大早なり原爆忌

齋藤 ツル子

桐一葉水の流れを換へにけり

三浦 一美

思い出やひみつの径のせみの声

糟谷 圭子

梅雨明けや稜線くつきり大岡山

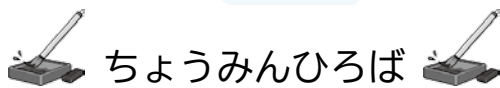
竹中 和博

一鱗は月でありけり鱗雲

青木 道子

ほしい雨雷鳴聞くもどこが降る

村上 毅



ちょうみんひろば

《川柳》

暑い暑いたまには寒いと言っておけ

竹中 和博

長生きが思い出を積む楽しさも

岩上 武史

ペア券を積んでニンマリ欲議員

石村 菊夫

毎月の悩む川柳積み重ね

安永 藤子

古札新札山積みする程あれば良い

橋本 雅夫

若き日に目の運積み残し

水上 健二

積みあげた石垣のこる田舎道

池下 邦枝

幾千年古城の石垣美しく

寺戸 美瑛子

積んだ本昼寝するのにちょうどいい

大庭 和子

愛宕山夢に人来て石を積み

田村 民子

一言で積んだ功績皆崩れ

澤 三智代

積み上げた力をみせる球児達

折口 沙羅

オリンピック寝不足たり大アクビ

村上 毅

《短歌》

灼熱の通天閣に天守閣

歩き通した孫と二万歩

竹中 和博

石垣は集めた数が先人の

苦勞と技の芸術品

齋藤 みどり

生ききたる九十年の手相見て

生命線を指で伸ばし

田村 民子

読み聞かせ聞いてくれてた子供たち

今は素敵なはたちの集い

中村 恵己子

野の花の白も黄色も紫も

あえかに散らし草刈機雑ぐ

長峯 辰雄

君が為尾乃えにい出し若菜を摘めば

我袖濡らす春のあわ雪

橋本 雅夫

出生くすこやかにく (8月届出)

齋藤 向陽(こうよう)さん

拓哉・若菜さんの子 朝倉

井川 宮(みや)さん

仁人・彩加さんの子 注連川

お悔みくやすらかにく (8月届出)

山下 三喜男さん 79歳 六日市

村上 英子さん 95歳 柿木

齋藤 菊江さん 84歳 白谷

米原 通子さん 84歳 柿木

中村 登さん 96歳 注連川

河内 英三郎さん 97歳 沢田

澄川 千重子さん 95歳 抜月

大出 ハナエさん 105歳 柿木

同意が得られた方のみ記載しています。

寄稿・文芸コーナー

応募方法とお知らせ

- 毎月1日までに企画課へ提出してください。
 - 寄稿の場合は五〇〇字以内としてください。
 - 楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。
 - 応募作品は基本的に原文のまま記載しますが原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。
 - 作品の内容によっては掲載しない場合があります。
 - 応募多数の場合は掲載しない場合があります。
 - 原稿はお返ししません。
 - 掲載希望のコーナー名を記載ください。
 - 掲載の有無は連絡いたしません。
- ※応募された方は右記を了承いただいた事とさせていただきます。



グラントワ
Grand Toit

島根県芸術文化センター
 石見美術館
 石見美術館
 石見美術館

掲載されている内容は、2024年11月28日時点の情報です。
 最新の情報は、グラントワホームページをご覧ください。

Tel: 0856-8822 5511 FAX: 0856-8822 5512
 E-mail: info@grandtoit.jp



9/21(土) - 12/2(日)
 11:30 - 18:00 (観覧券への入場は17:30まで)
 観覧券 当日券/一般1,850円 大学生550円 小中高生300円
 発売券/全席・特別・コレクション展セット900円



石見生3人のスカデデザイナー 小根 公利
 YAMANE KIMIOBHI: MEMORIAL DESIGNER FROM IWAMI
 2024年9月14日(土) - 12月2日(月) 島根県立石見美術館
 観覧時間 9:30 - 18:00 (観覧券への入場は17:30まで) 休館日 毎週火曜日
 観覧券 当日券/一般 300円 (全席・特別・コレクション展セット1,150円)
 大学生 200円 (全席・特別・コレクション展セット700円)
 高校生以下無料 (全席・特別・コレクション展セット300円)

グラントワ「美通カード」「ホーノ友の会」
新規会員登録・更新停止のお知らせ
 2025年の開館20周年に向けて、現在会員制度のリニューアルを
 予定しています。
 新たな会員制度が整いましたら、改めてご案内いたします。
 本会、「ミュージアムパスポート」は引き続きご入会・更新いただけます。

山粧ふ 里にこだます 音楽会
 2024 **11.4** (月) 13:30 開場 → 14:00 開演 (上演時間約90分)
 【会場】 美工共有舞臺ハウス (3階又は4階) 島根県立石見美術館
 【入場料】 一般 **1,000円** 高校生以下無料 要事前申込
 【申込受付開始】 9月7日(土) 10:00 【先着順】
 【定員】 **40名**
 申込受付は2024年9月7日(土)10:00からとなります。 申込受付終了後、申込フォーム

ASKA
 Travel TV presents
ASKA CONCERT TOUR 2024 > 2025
WHO is ASKA!?
 2024.11.23 土・祝 開演 16:00 17:00
グラントワ大ホール
 Ticket 【入場券(全席指定・要申込)】
 一般 5席:12,000円 A席:9,000円
 学生 5席:12,000円(同席5,000円)キャッシュバック 30% 中学生・高校生
 入席:9,000円(同席4,500円)キャッシュバック 30% 中学生・高校生
 30歳以下学生要申込でキャッシュバック 国公立大学入場不可

BIG BAND FESTIVAL SHIMANEIT
 2024.11.24 (SUN)
グラントワ小ホール
 12:00 Open / 1:30 Start
 入場券 (全席指定・要申込)
 一般 1,000円 高校生以下700円
 当日10:00から

吉賀町公式LINEアカウント
 吉賀町ホームページアドレス
 ht tps://www.town.yoshika.lg.jp
 吉賀町メールアドレス
 info@km.town.yoshika.lg.jp
 編集・発行 吉賀町役場企画課
 〒699-5513 島根県鹿足郡吉賀町六日市750番地
 電話 0856-77-1437 FAX 0856-77-1891